（参考1）

新・生物多様性国家戦略の構成

前文

【経緯・計画の役割】

- ■見直しの経緯
- ■前回戦略のレビュー
- ■新戦略の性格・役割

第1部 生物多様性の現状

【問題意識】生物多様性の3つの危機

- ■第1の危機　人間活動に伴うインパクト
- ■第2の危機　人間活動の縮小に伴うインパクト
- ■第3の危機　移入種等によるインパクト

【現状分析】

- ■社会経済状況　社会経済動向　国民意識の変化
- ■生物多様性の現状　世界・日本の概況　種・生態系の現状
- ■保護制度の現状　国土利用計画体系　環境省の保護施策

第2部 理念と目標

【理念と目標】

■5つの理念
①人間生存の基盤
②世代を超えた安全性、効率性の基礎
③有用性の源泉
④豊かな文化の根源
⑤予防的順応的態度（エコシステムアプローチ）

■3つの目標
①種・生態系の保全
②絶滅の防止と回復
③持続可能な利用

■生物多様性のグランドデザイン
・国土のマクロな認識
・国土のあるべきイメージ

第3部 生物多様性保全及び持続可能な利用

【対応の基本方針】

■3つの方向
①保全の強化
②自然再生
③持続可能な利用

■基本的視点
①科学的認識
②統合的アプローチ
③知識の共有・参加
④連携・共同
⑤国際的認識

■生物多様性からみた国土の捉え方
①国土の構造的把握
②植生自然度別の配慮事項

【個別方針】

■主要テーマ別取扱い方針
①重要地域の保全と生態的ネットワーク形成
②里地里山の保全と持続可能な利用
③湿原・干潟等湿地の保全
④自然の再生・修復
⑤野生生物の保護管理
・種の絶滅の回避
・移入種問題への対応
⑥自然環境データの整備
⑦効果的な保全手法等
・環境アセスメントの充実
・国際的取組

第4部 具体的施策の展開

【個別施策・各省施策】

■国土の空間的特性・土地利用に応じた施策
①森林・林業
②農地・農業
③都市・公園緑地・道路
④河川・砂防・海岸
⑤港湾・海洋
⑥漁業
⑦自然環境保全地域・自然公園
⑧名勝・天然記念物

■横断的施策
①野生生物の保護管理
②生物資源の持続可能な利用
③自然とのふれあい
④動物愛護・管理

■基盤的施策
①調査研究・情報整備
②教育・学習・普及啓発・人材育成
③経済的措置等
④国際的取組

第5部 戦略の効果的実施

【まとめ】

①実行体制と各主体の連携
②各種計画との連携
③国家戦略実施状況の点検と国家戦略の見直し